

事業協同組合（設立）

代表理事が申請書又は委任状に印鑑を押印する場合は、登記所に提出した印鑑を押印しなければなりません。印鑑の提出は、印鑑届書により行います。この印鑑届書には、市町村長の作成した3か月以内の印鑑証明書を添付する必要があります。

なお、印鑑届書は、法務局ホームページ「商業・法人登記の申請書様式」(https://houmukyoku.moj.go.jp/homu/COMMERCE_11-1.html)に掲載していますので、御利用ください。

事業協同組合設立登記申請書

フリガナ ○○カイ
1. 名称 ○○会協同組合

商号のフリガナは、会社の種類を表す部分（協同組合）を除いて、片仮名で、左に詰めて記載してください。間に空白がある場合には、空白を削除した文字をフリガナとして登録します。
このフリガナは、国税庁法人番号公表サイトを通じて公表されます。
なお、登記事項証明書には、フリガナは表示されません。

1. 主たる事務所 ○県○市○町○丁目○番○号

1. 登記の事由 令和○年○月○日設立の手續終了

(注) 出資の第1回払込み又は出資の全額の払込みのあった年月日を記載してください。

なお、非出資の商工組合等にあつては、設立認可のあった日（認可書到達の年月日）を記載してください。

1. 認可書到達の年月日 令和○年○月○日

1. 登記すべき事項

「名称」 ○○会協同組合

「主たる事務所」 ○県○市○町○丁目○番○号

「目的等」 ○○

「役員に関する事項」

「資格」 代表理事

「住所」 ○県○市○町○丁目○番○号

「氏名」 ○○○○

「従たる事務所番号」 1

「従たる事務所の所在地」 ○県○市○町○丁目○番○号

「従たる事務所番号」 2

「従たる事務所の所在地」 ○県○市○町○丁目○番○号

「公告の方法」 本組合の公告は、主たる事務所の店頭に掲示してする。

「出資1口の金額」 金○○円

「出資の総口数」 ○○口

「払込済出資総額」 金○○○万円

「出資払込の方法」 出資は全額を一時に払い込むものとする。

「地区」 ○県○市の区域

「存続期間」 令和○年○月○日まで

「解散の事由」 組合員が○名以下になった場合には、解散する。

「登記記録に関する事項」 設立

1. 添付書類（以下の添付書面は一例です。）

- 定 款 1 通
（注）記載すべき内容等については、当該事業協同組合の所管行政庁にお問い合わせください。
- 創立総会議事録 1 通
（注）代表理事に就任した者が理事に選任されたことを証するために添付します。
- 理事会議事録 1 通
（注）代表理事の選定に関する理事会の議事録を添付します。
- 代表理事の就任承諾書 ○通
（注）代表理事が理事及び代表理事に就任を承諾したことを証する書面が必要となります。
ただし、創立総会及び理事会の席上で代表理事が就任を承諾しその旨の記載が議事録にある場合には、申請書に、別途、就任承諾書を添付する必要はありません。この場合、申請書には、「就任承諾書は、創立総会及び理事会の議事録の記載を援用する。」と記載してください。
- 出資の総口数を証する書面 ○通
（注）各組合員の出資引受書等を添付します。
- 出資の第1回の払込み又は出資の全額の払込みのあったことを証する書面 ○通
（注）理事が払込みを取り扱った場合にはその領収書の控えを、銀行等が払込みを取り扱った場合にはその領収書等を添付します。
- 出資の目的たる財産の給付があったことを証する書面 ○通
（注）現物出資のある場合に限り、添付します。
- 認可書
（又は行政庁若しくは主務大臣の認証のある認可書の謄本） 1 通
- 委任状 1 通
（注）代理人に申請を委任した場合にのみ、必要となります。

上記のとおり、登記の申請をします。

令和○年○月○日

○県○市○町○丁目○番○号 (注1)
申請人 ○○会協同組合 (注2)

○県○市○町○丁目○番○号 (注3)
代表理事 ○○○○ 印

〔 ○県○市○町○丁目○番○号 (注4)
上記代理人 ○○○○ 印 〕

連絡先の電話番号
○○-○○○○-○○○○

(注1)~(注4)にはそれぞれ、
以下のとおり記載します。
(注1)→主たる事務所
(注2)→名称
(注3)→代表理事の住所
(注4)→代理人の住所

法務局に提出した印鑑を押します。印鑑の
提出については下記を御覧ください。

代理人が申請する場合にのみ記載し、代理
人の印鑑（認印）を押します。この場合、代
表理事の押印は、必要ありません。

契
印

〇〇法務局 〇〇支 局 御中
出張所

契
印

登記申請書（収入印紙貼付台紙を含む。）が複数ページになる場合は各ページのつづり目に契印する必要があります。契印は、登記申請書に押した印鑑（設立時代表理事が法務局に提出した印鑑又は代理人の印鑑）と同一の印鑑を使用する必要があります。

創立総会議事録

(一例です。法人の実情に合わせて作成してください。)

創立総会議事録

令和〇年〇月〇日、〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号当組合創立事務所において、〇〇会協同組合の創立総会を開催した。

本日の出席者は、次のとおりであり、本総会は、有効に成立した。

令和〇年〇月〇日までに設立の同意を申し出た者の総数 〇〇名

出席者 〇〇名

定刻、まず、司会者として〇〇〇〇が立ち、本総会の議長の選出をしたところ、議長には、〇〇〇〇が選挙され、議長席に着いた。

議長は、本組合の本日に至るまでの設立経過につき詳細に説明報告し、満場一致の承認があったので、次の議案の審議に移った。

第1号議案 原始定款承認の件

議長は、本議案につき、各条ごとに説明をし、その承認を求めたところ、満場異議なく、原案のとおり承認可決した。

第2号議案 役員選挙の件

議長は、本議案につき、定款の規定により単記式無記名投票選挙の方法で行う旨を告げ、直ちに選挙に入った。

なお、役員の前候補者は、次のとおりである。

理事〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇〇〇 〇〇〇〇

監事〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

以上の候補者を発表の上、投票用紙を配布して投票を行った結果、得票数の順序に従って定款に定めた員数である理事5名、監事2名の選任を行った。当選した者は、次のとおりである。

理事当選者 〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

監事当選者 〇〇〇〇

〇〇〇〇

以上の者がそれぞれ当選し、当選者は、全員席上で就任を承諾した。

ここで議長は、中小企業等協同組合法第36条第3項の規定により、上記の役員の任期は本総会で定めなければならない旨を告げ、その期間をいつまでとすべきかを諮ったところ、第1回の通常総会終結の時までと決定した。

第3号議案 初年度の収支予算案及び事業計画案の承認の件

議長は、本議案につき、配布した原案の詳細な説明をし、その承認について諮ったところ、全員異議なく承認可決した。

以上をもって本日の創立総会の議案の全部を終了したので、議長は閉会の挨拶を述べ、午後〇時〇分に散会した。

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長及び発起人は次に記名する。

令和〇年〇月〇日

〇〇会協同組合創立総会において

議 長 ○○○○

発 起 人 ○○○○

同 ○○○○

同 ○○○○

同 ○○○○

議事録の作成に係る職務を行った者

○○○○

(注) 創立総会の席上で代表理事たる理事が就任を承諾しその旨の記載が議事録にある場合には、申請書に、別途、就任承諾書を添付する必要はありません。この場合、申請書には、「就任承諾書は、創立総会の議事録の記載を援用する。」と記載してください。

理事会議事録の例

(一例です。法人の実情に合わせて作成してください。)

理事会議事録

令和〇年〇月〇日午後〇時、〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号当組合創立事務所において、理事会を開催した。

出席者 〇名 (全員)

議長として理事〇〇〇〇が推され、直ちに審議に入った。

第1号議案 理事長及び専務理事の選定の件

選挙の結果、次のとおり決定し、被選定者は、即時就任を承諾した。

理事長 〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号 〇〇〇〇

専務理事 〇〇〇〇

以上により、理事長〇〇〇〇は、定款第〇条の規定によって本組合を代表すべき理事となった。

第2号議案 主たる事務所及び従たる事務所設置の件

議長は、当組合の主たる事務所及び従たる事務所を次の地に設置したい旨を諮ったところ、全員これを承認した。

主たる事務所 〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号

従たる事務所 〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号

以上で議事の全部が終了したので、議長は閉会を宣言した。

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、出席理事及び監事が次に記名押印する。

令和〇年〇月〇日

〇〇会協同組合理事会において

議長理事 〇〇〇〇 印

理事 〇〇〇〇 印

同 〇〇〇〇 印

同 〇〇〇〇 印

同 〇〇〇〇 印

監事 〇〇〇〇 印

同 〇〇〇〇 印

(注) 理事会の席上で代表理事が就任を承諾しその旨の記載が議事録にある場合には、申請書に、別途、就任承諾書を添付する必要はありません。この場合、申請書には、「就任承諾書は、理事会の議事録の記載を援用する。」と記載してください。

出資引受書

私は、本組合の設立の趣旨に賛同し、下記のとおり出資の引受けをいたします。
記

1. 金 ○○ 円
この出資口数 ○○ 口
ただし、1口の金額 ○○ 円
(第1回払込金額 金○○円)

令和○年○月○日

○県○市○町○丁目○番○号
○○○○

○○会協同組合 御中

出資払込領収書 (控)

1. 金 ○○ 円
この口数 ○○ 口

貴殿の出資に係る当組合出資 (又は出資の第1回) 払込金として、上記の金額を正に受領しました。

令和○年○月○日

○県○市○町○丁目○番○号
○○会協同組合
代表理事 ○○○○

出資者

○○○○ 殿

現物出資給付書

私は、本組合の設立の趣旨に賛同し、次の財産を出資する。

出資の目的たる財産及びその価格

1. ○県○市○町○番○号の 宅地 ○○. ○○㎡

この評価額 金○百万円

1. ○○年型○普通自動車 ○台

この評価額 金○百万円

以上総合計 金○百万円

以上の現物出資によって引受けをする出資口数 ○口

ただし、出資1口の金額 金○百万円

令和○年○月○日

○県○市○町○丁目○番○号

出資者

○○○○

○○会協同組合 御中

現物出資引継書

1. ○県○市○町○番○号の 宅地 ○○. ○○㎡

この評価額 金○百万円

1. ○年型○普通自動車 ○台

この評価額 金○百万円

以上総計 金○百万円

この口数 ○○口

貴殿出資に係る以上の物件は、正に引き継ぎました。

令和○年○月○日

○県○市○町○丁目○番○号

○○会協同組合

代表理事

○○○○

組合員 ○○○○殿

代表理事たる理事が理事の就任を承諾したことを証する書面（就任承諾書）の例

就 任 承 諾 書

私は、令和〇年〇月〇日開催の貴組合創立総会において、貴組合の理事に選任されたので、その就任を承諾します。

令和〇年〇月〇日

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
〇〇〇〇

〇〇会協同組合 御中

代表理事の就任を承諾したことを証する書面（就任承諾書）の例

就 任 承 諾 書

私は、令和〇年〇月〇日開催の貴組合理事会において、貴組合の代表理事に選定されたので、その就任を承諾します。

令和〇年〇月〇日

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
〇〇〇〇

〇〇会協同組合 御中

委任状の例

委 任 状

○県○市○町○丁目○番○号
○○○○

私は、上記の者を代理人に定め、下記の権限を委任する。

記

1 当法人の設立登記を申請する一切の件

1 原本還付の請求及び受領の件 (注1)

なお、認可書到達の年月日は、令和○○年○○月○○日である。

令和○年○月○日

○県○市○町○丁目○番○号
○○会協同組合
代表理事 ○○○○ 印 (注2)

(注) 1 原本の還付を請求する場合に記載します。

2 当該代表理事が法務局に提出している印鑑を押します。